

令和7年度 教科等の持ち方（例）

※ 自分の担当学級だけではなく、「**学年全体の教科指導**」に責任を持つ、という考え方で体制を組みます。

学級担任制は「1人の学級担任が全教科の指導を担う」ことが基本ですが、学年担任制では「複数の担任で学年全体の教科指導を担う」ことになります。具体的には、下記の通り、教科担任制や学年合同授業、算数以外でも習熟度別授業など、柔軟で効果的な指導体制が考えられます。

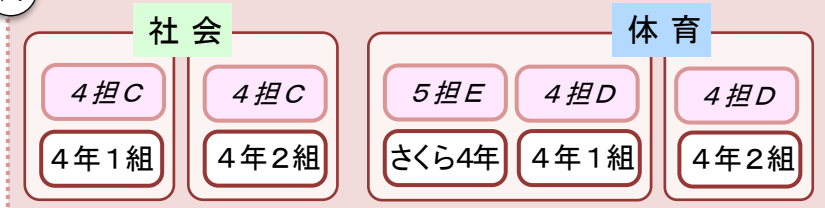
3年生は、2クラスとも〇〇先生が**道徳**、△△先生が**体育**を担当。

4～6年生は、2クラスとも▽▽先生が**社会**、□□先生が**体育**を担当。

また、3～6年生は、さくら学級児童の個に応じて通常学級と**共同で学習**。
なお、さくら学級3・4年生の体育は、通常学級5・6年生の先生が担当。

教科担任制で学ぶ

例



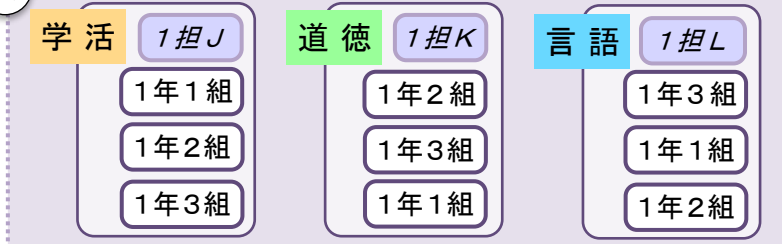
時間割

	さくら4組	4年1組	4年2組
1校時	体育 5年生の□□先生	社会 4年生の〇〇先生	社会 4年生の△△先生
2校時	理科 さくらのJ先生	社会 4年生の△△先生	体育 4年生の〇〇先生

学活・道徳授業の担当制で学級指導

1～2年生は、3人の先生で学活・道徳・言語を分担して、**1人の先生が3クラスとも担当**。

例



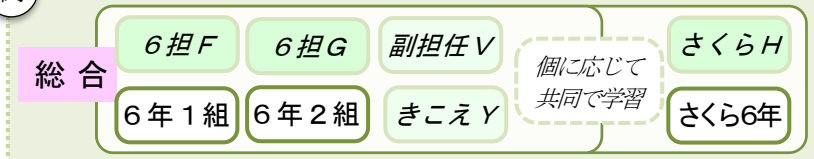
時間割

	1年1組	1年2組	1年3組
1校時	学活 J先生	道徳 K先生	言語 L先生
2校時	言語 L先生	学活 J先生	道徳 K先生
3校時	道徳 K先生	言語 L先生	学活 J先生

学年単位で学ぶ

3～6年生の総合的な学習は、**学年合同で探究グループを編成**して学習。
また、通常学級とさくら学級の個に応じて**さくら学級と共同で学習**。

例



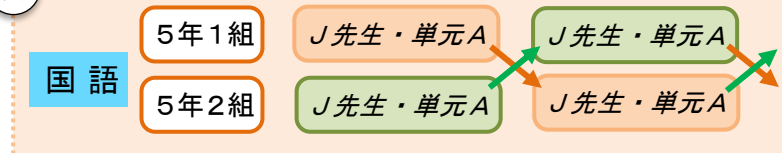
時間割

	6年1組	6年2組	さくら6組
1校時	総合的な学習の時間 6年生の担任F先生 6年生の担任G先生 6年生副担任H先生 さくら6組のM先生		

単元ごとに学ぶ

先生は2人とも国語を担当するが、教える**単元ごとに分担**することで、2クラスで授業を行う。

例



時間割

	4月	5月	6月	7月
5年1組	単元A R先生	単元B K先生	単元C R先生	単元D K先生
5年2組	単元B L先生	単元A R先生	単元D K先生	単元C R先生

習熟度別に学ぶ

単元毎の**習熟度により学級編成**を行い、先生もローテーションする。
例:1・2年生は、3学級5展開に、さくら学級を加えて、**4学級6展開**。

例

